



*Best Solution & True Innovation*

# 2016年3月期決算説明会資料

2016年5月12日  
日本ケミコン株式会社

業績推移

〔単位:百万円〕

	2015年度 上期実績	2015年度 下期実績	前期比 差	2014年度 実績	2015年度 実績	前年度比 差
売上高	60,623	57,791	△2,832 △4.7%	123,365	118,414	△4,951 △4.0%
営業利益 (%)	2,245 3.7%	△66 △0.1%	△2,311 -	5,122 4.2%	2,179 1.8%	△2,943 △57.5%
経常利益 (%)	1,620 2.7%	△455 △0.8%	△2,075 -	6,207 5.0%	1,165 1.0%	△5,041 △81.2%
親会社株主に帰属 する当期純利益(%)	1,131 1.9%	△8,036 △13.9%	△9,167 -	5,362 4.3%	△6,905 △5.8%	△12,267 -
ROA	-	-	-	3.7%	△4.9%	△8.6%
ROE	-	-	-	7.6%	△9.7%	△17.3%
USDレート (円)	121.80	118.46	△3.34	109.93	120.13	+10.20
EURレート (円)	135.07	130.07	△5.00	138.77	132.57	△6.20
設備投資	2,327	2,027	△300	5,203	4,354	△849
減価償却費	3,516	3,611	+95	7,373	7,127	△246
研究開発費	2,110	2,211	+101	4,160	4,321	+161

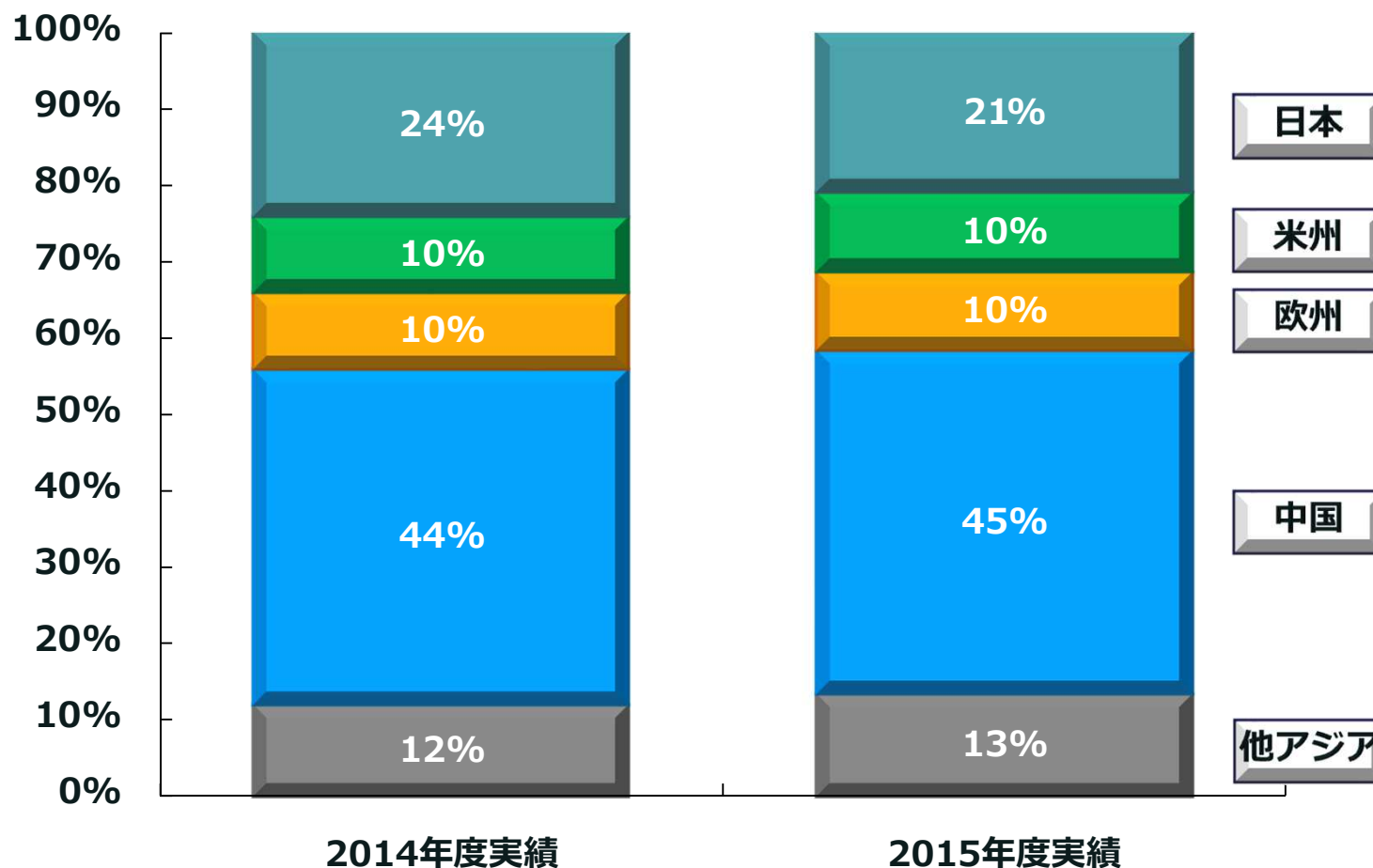
製品別売上推移

〔単位:百万円、(%):構成比〕

	2015年度 上期実績	2015年度 下期実績	前期比 差	2014年度 実績	2015年度 実績	前年度比
アルミ電解 (%)	52,095 (85.9%)	48,599 (84.1%)	△3,496 △6.7%	104,195 (84.5%)	100,694 (85.0%)	△3,501 △3.4%
導電性 (%)	5,043 (8.3%)	5,258 (9.1%)	+215 +4.3%	10,404 (8.4%)	10,301 (8.7%)	△103 △1.0%
DLCAP™ (%)	1,952 (3.2%)	1,979 (3.4%)	+27 +1.4%	4,302 (3.5%)	3,931 (3.3%)	△371 △8.6%
他コンデンサ (%)	1,762 (2.9%)	1,853 (3.2%)	+91 +5.2%	4,126 (3.3%)	3,615 (3.1%)	△511 △12.4%
コンデンサ合計 (%)	55,809 (92.1%)	52,431 (90.7%)	△3,378 △6.1%	112,624 (91.3%)	108,240 (91.4%)	△4,384 △3.9%
機構 (%)	1,358 (2.2%)	1,449 (2.5%)	+91 +6.7%	2,720 (2.2%)	2,807 (2.4%)	+87 +3.2%
コンデンサ材料 (%)	2,489 (4.1%)	2,775 (4.8%)	+286 +11.5%	5,902 (4.8%)	5,264 (4.4%)	△638 △10.8%
その他 (%)	956 (1.6%)	1,135 (2.0%)	+179 +18.7%	2,118 (1.7%)	2,101 (1.8%)	△17 △0.8%
総合計 (%)	60,623 (100.0%)	57,791 (100.0%)	△2,832 △4.7	123,365 (100.0%)	118,414 (100.0%)	△4,951 △4.0%

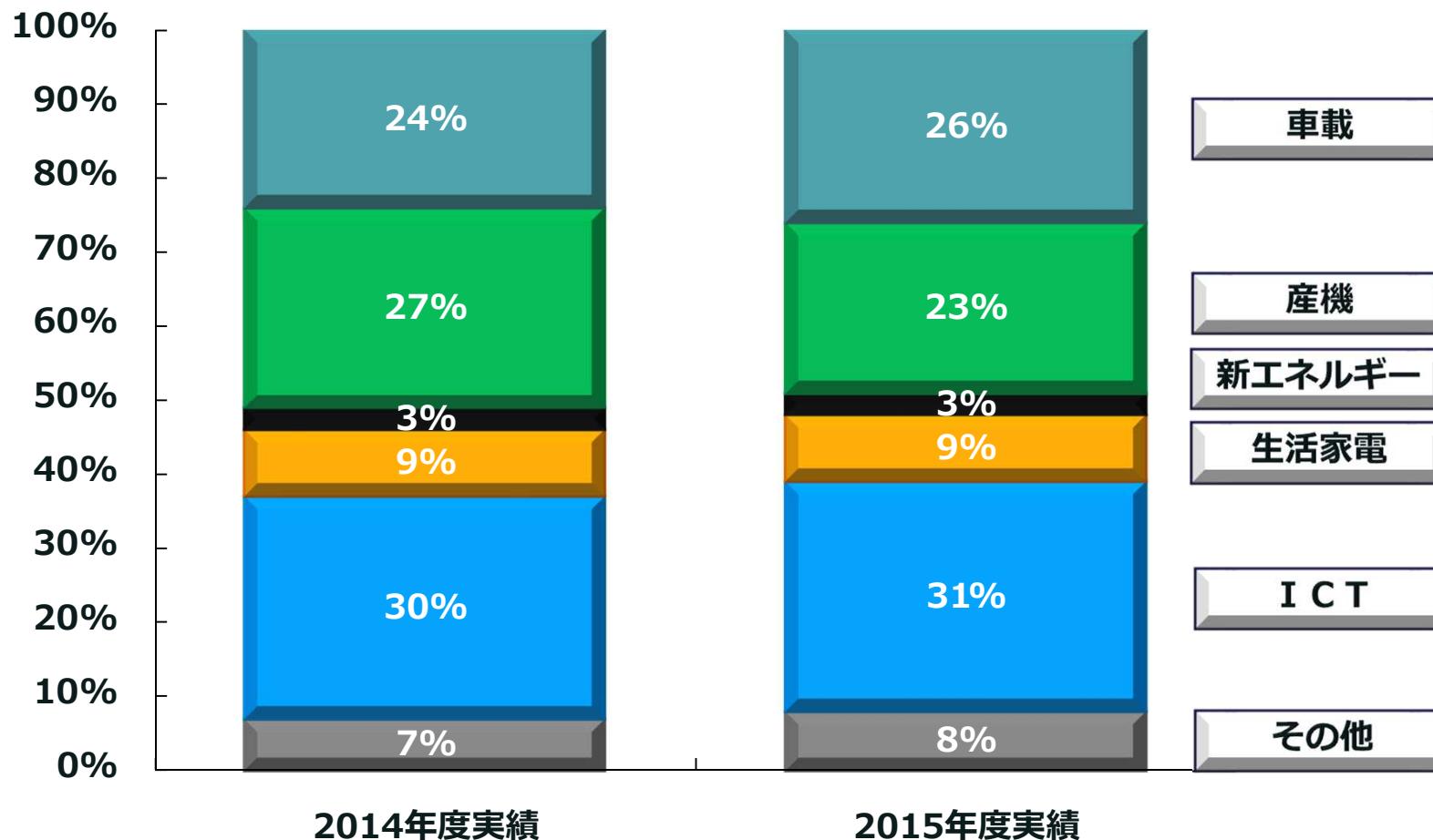
### 地域別売上構成推移

- 日本の売上構成比が24%から21%に3ポイント低下
- ◆ 産業機器・インフラ市場が低迷し、大形アルミ電解が伸び悩んだ
- ◆ 車載市場は原油安により低燃費車が伸び悩み、DLCAP™の売上が減少した



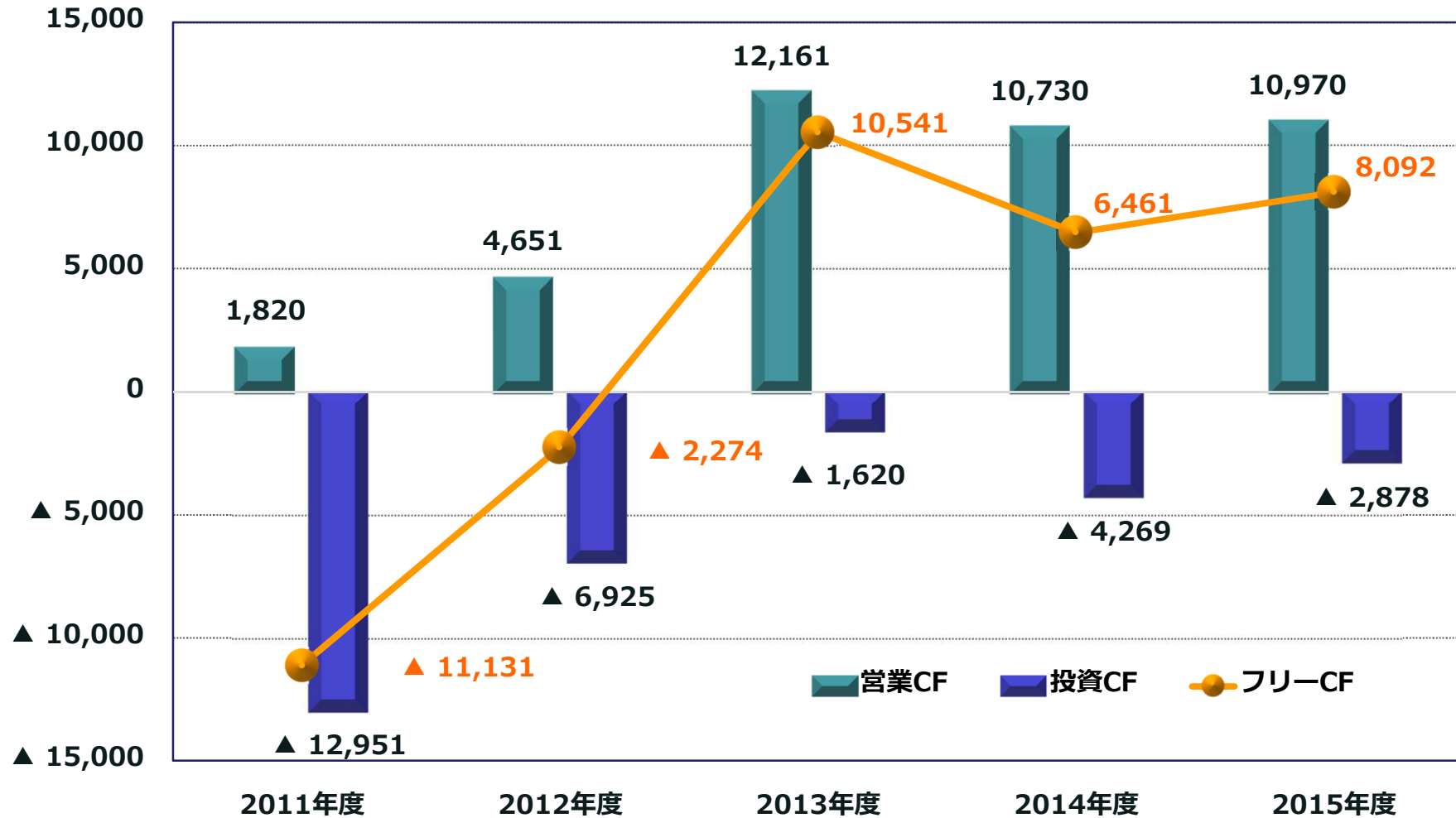
### 戦略市場別売上構成推移（全製品）

- 車載市場は米国を中心に堅調に推移し、売上構成比、金額ともに伸張した
- 産業機器市場は中国経済低迷の影響で、売上構成比、金額ともに大幅に減少した
- ICT市場はPC生産が低調だったが、下期より通信基地局需要が回復し、持ち直した



連結キャッシュフローの推移

単位：百万円



基本戦略

全社経営革新の実践：再生から成長軸への転換



営業利益 V字回復



総資産回転率の改善



キャッシュフロー創出

## 重点施策

### 1. ガバナンスの強化と積極経営の推進

お客様をはじめ、株主、投資家、社会からの信頼を高め、「価値のある企業」であり続けるために、企業倫理と遵法の精神に基づき、経営の透明性を確保しつつ競争力の強化を目指したガバナンスの構築とさらなる強化を進めてまいります。

### 2. 経営革新のスピードアップ

- 事業別責任体制の明確化
- 関係会社政策の見直し
- コスト構造改革の実践（生産再編）
- バランスシート改革
- 人財の育成

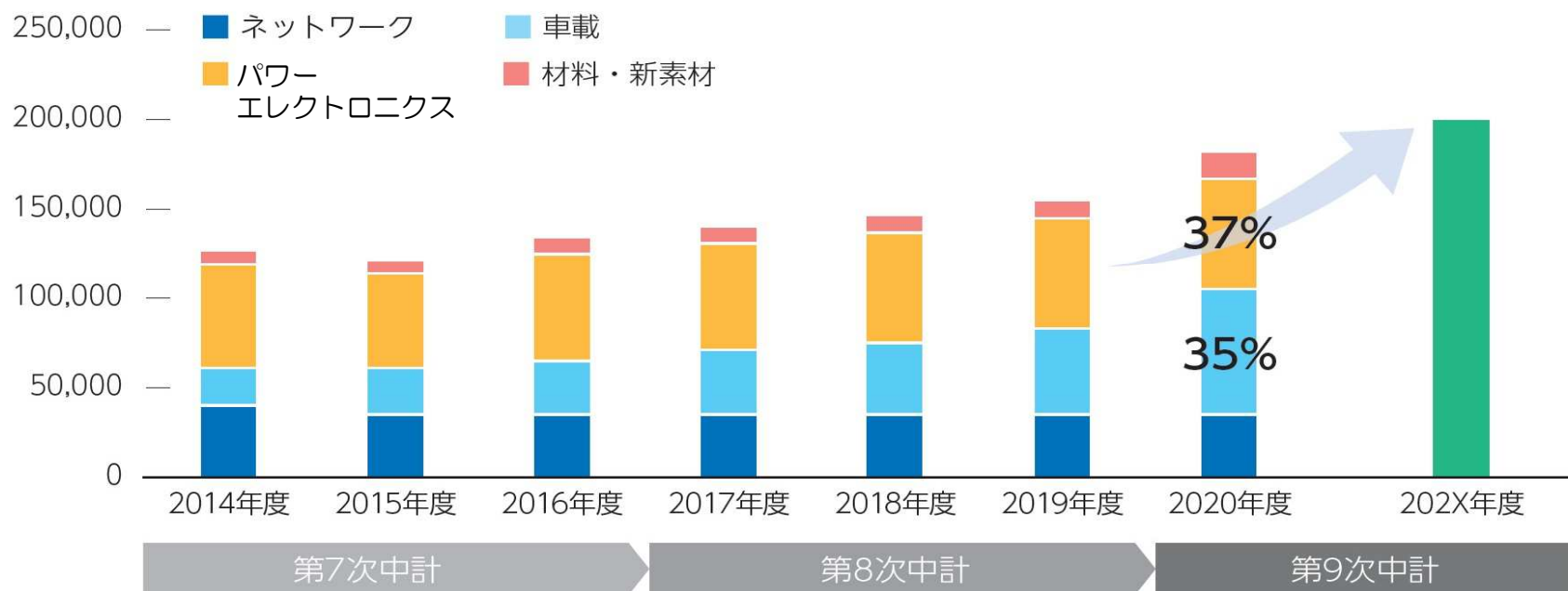
### 3. 成長戦略の明確化

- アルミ電解事業の圧倒的競争力強化
- DLCAP事業の成長力強化
- 固体・機能デバイス事業の強化
- 機能材料・新素材事業の育成



ミッション：“エネルギー分野でキャパシタNo.1企業になる”

長期数値目標(百万円)



- 第6次中期経営計画では、“E.C.O.ソリューション企業への変革”として活動を開始し、
- 第7次中期経営計画では、“E.C.O.ソリューション企業への基盤作り”として次なる飛躍に向けた企業再生をスローガンに経営革新に取り組みながら、財務体質の強化、成長戦略の明確化スピード経営の実践等の施策を進めています。
- 長期的には、10年後の2022年度に向けた、“E.C.O.ソリューション企業への飛躍”を目標として（1）パワーエレクトロニクス市場の強化、（2）車載市場の売上構成比を拡大を目指して商品力強化に努めて2020年代早期に2,000億円企業を目指します。

業績予想

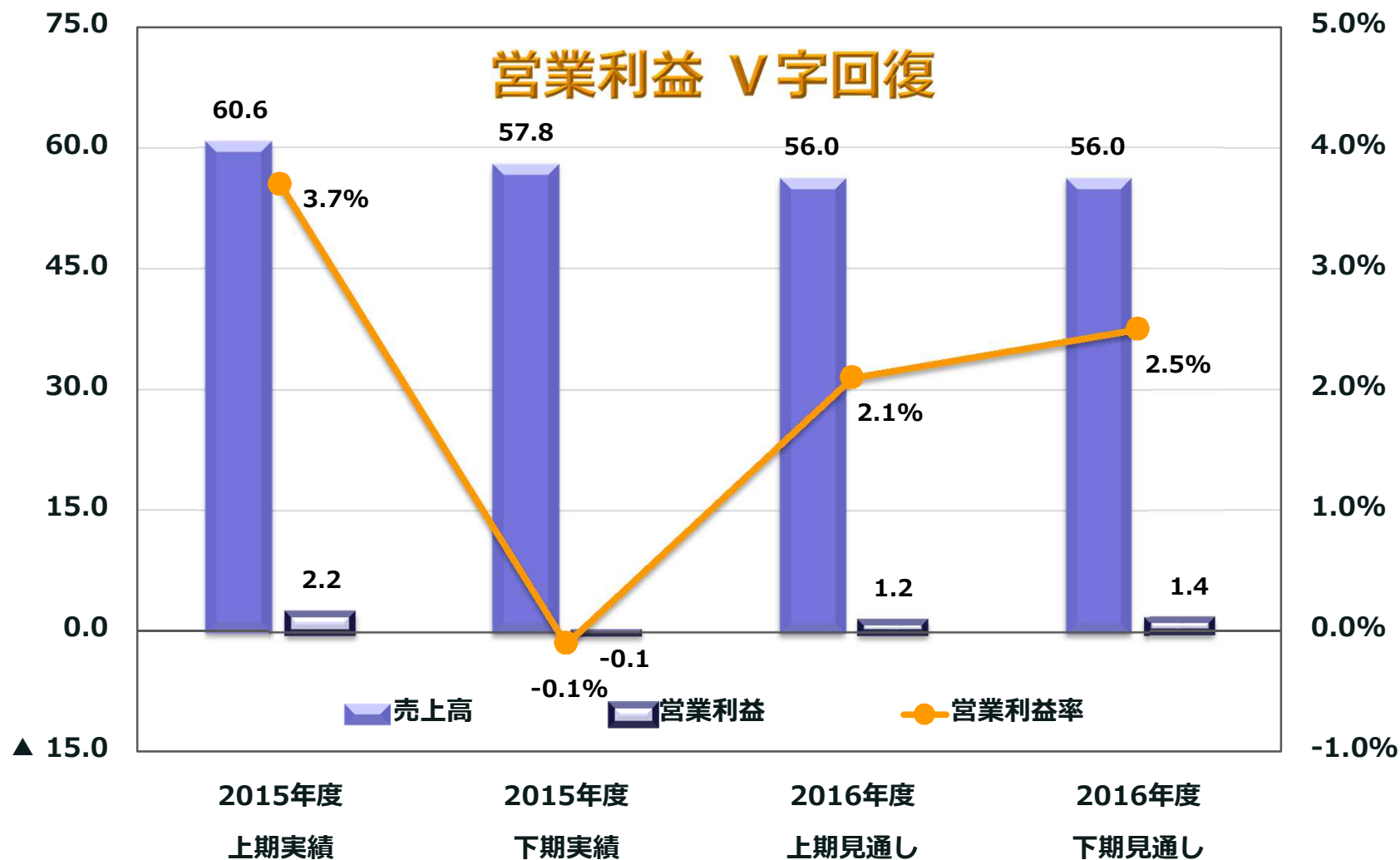
〔単位:百万円〕

	2015年度実績	2016年度計画	前年度差	前年度比
売上高	118,414	112,000	△6,414	△5.4%
営業利益 (%)	2,179 (1.8%)	2,600 (2.3%)	+421	+19.3%
経常利益 (%)	1,165 (1.0%)	2,400 (2.1%)	+1,235	+106.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益 (%)	△6,905 (△5.8%)	1,500 (1.3%)	+8,405	黒字転換
ROA	△4.9%	1.1%	+6.0%	—
ROE	△9.8%	2.4%	+12.2%	—
USDレート(円)	120.13	110.00	△10.13	—
EURレート(円)	132.57	125.00	△7.57	—
設備投資	4,354	5,100	+746	+17.1%
減価償却費	7,127	6,800	△327	△4.6%
研究開発費	4,321	4,500	+179	+4.1%

業績推移見通し

単位：10億円

営業利益率



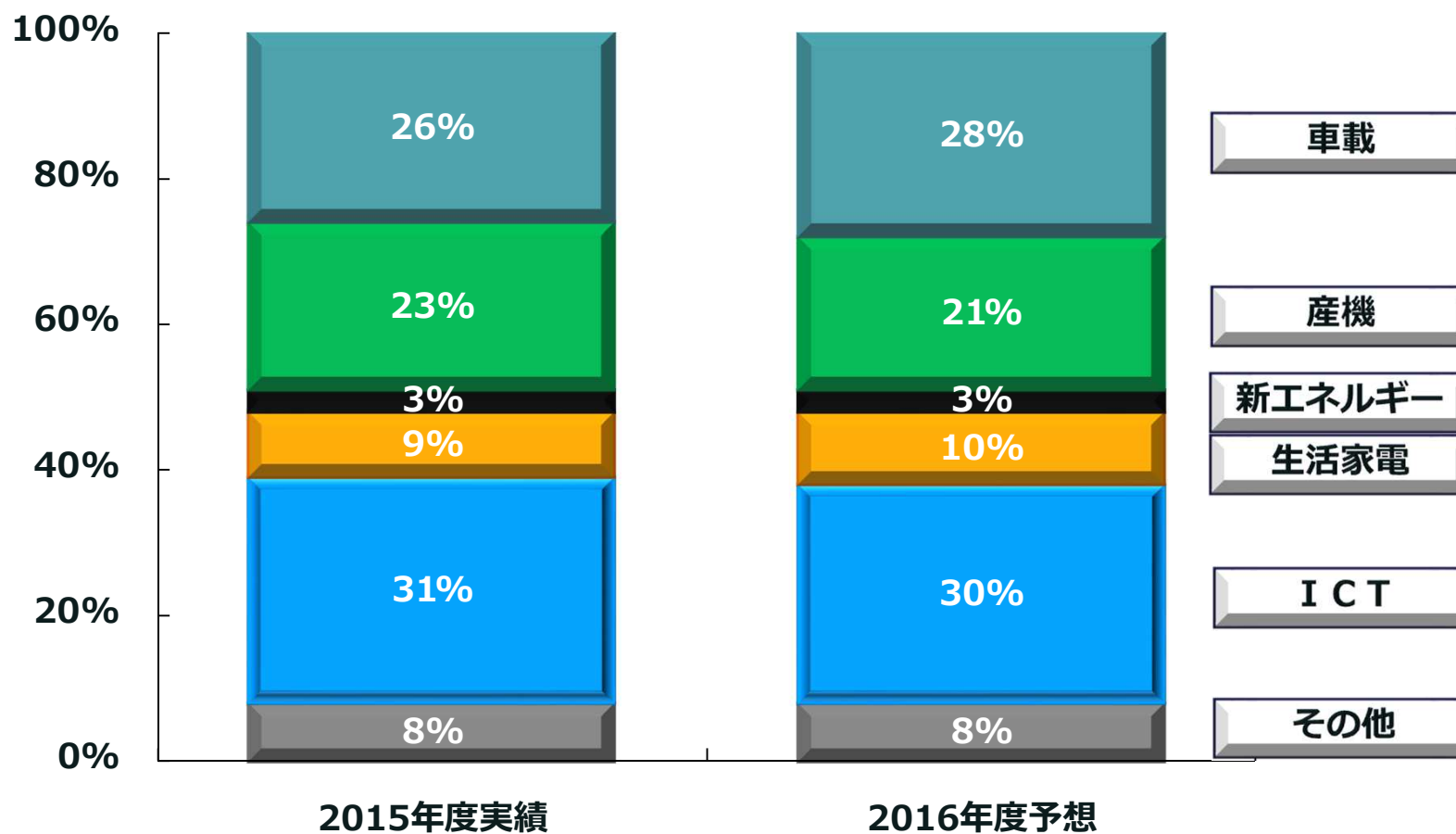
製品別売上推移見込

〔単位:百万円、(%):構成比〕

	2015年度実績	2016年度計画	前年度差	前年度比
アルミ電解 (%)	100,694 (85.0%)	94,300 (84.2%)	△6,394	△6.3%
導電性高分子コンデンサ (%)	10,301 (8.7%)	9,400 (8.4%)	△901	△8.7%
DLCAP™ (%)	3,931 (3.3%)	4,100 (3.7%)	+169	+4.3%
その他コンデンサ (%)	3,615 (3.1%)	3,200 (2.9%)	△415	△11.5%
コンデンサ合計 (%)	108,240 (91.4%)	101,600 (90.7%)	△6,640	△6.1%
機構 (%)	2,807 (2.4%)	2,800 (2.5%)	△7	△0.2%
コンデンサ材料 (%)	5,264 (4.4%)	5,400 (4.8%)	+136	+2.6%
その他 (%)	2,101 (1.8%)	2,200 (2.0%)	+99	+4.7%
総合計 (%)	118,414 (100.0%)	112,000 (100.0%)	△6,414	△5.4%

戦略市場別売上構成推移（全製品）

- 車載市場は中国の自動車減税と好調な北米市場、電装化の進展により堅調さが継続する見通し  
 別に電解, DLCAP, カメラモジュール, セラコン, コイルなど全般的に車載市場向けが好調で売上構成比30%に迫る勢い
- 産業機器市場は2016年度も中国経済の低迷と資源安の影響で足踏み状況



## 今後ともご支援のほど宜しくお願い申し上げます。

### 〔注意事項〕

本資料で記述されている業績予想並びに将来予測につきましては、本資料作成時点において入手可能な情報により当社が合理的に判断した予想であり、実際の業績は、今後、様々な要因により変動する場合があることをご承知おき下さい。

また、本資料に記載されている将来予想に関する事項についてその内容を更新し、公表する責任を負いませんのでご了承願います。

投資に関する最終決定につきましては、投資家の皆様ご自身の判断で行われますようお願い致します。本資料の内容に基づいて投資された結果、万一何らかの損害を被られましても、当社及び各情報の提供者は一切責任を負いかねますので、併せてご了承願います。

### 〔Note〕

The projected performance figures in this material are based on information available to Nippon Chemi-Con's management at the time this material was prepared. There are many uncertain factors inherent in forecasting, and there might be cases in which actual results differ from forecast values. Nippon Chemi-Con undertakes no obligation to publicly update or revise any forward-looking statements included in this material.

If you are interested in investing in Nippon Chemi-Con, you are requested to make a final investment decision at your own risk. Please note that neither Nippon Chemi-Con nor any third party providing information shall be responsible for any damage or loss you may suffer due to investment in Nippon Chemi-Con based on the information shown in this material.